

No.300

2025年  
9月号

# さくら

図書館だより

(編集・発行)

宿毛市立坂本図書館

〒788-0001

宿毛市中央二丁目7番14号

☎ 0880-63-2654

FAX 0880-63-0155

## 《 展示のご案内 》

展示期間 9月25日(木)まで

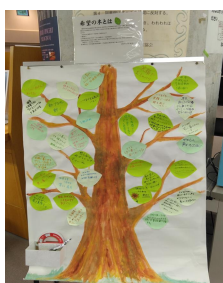
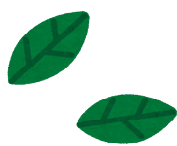
★メイン展示

### 『認知症』



今年も長寿政策課予防係・宿毛市地域包括支援センター・認知症サポーターわの会のみなさんとコラボし、「認知症」をテーマに展示しました。

さまざまな人が認知症を自分ごととして考え、「希望」を書き留めた希望のリーフを茂らせた「希望の木」も展示していますので、是非希望のリーフに書き込みをしてくださいね。



「希望の木」



●メイン展示図書(抜粋)

- 「「親の介護」は猫にたとえちゃえばいい。」
- 「マンガぼけ日和」「その症状って、本当に認知症?」
- 「認知症の親へのイラッとする気持ちがスーッと消える本」
- 「なぜ、認知症の人は家に帰りたいがるのか」
- 「ボケ、のち晴れ」「ようこそ、認知症カフェへ」
- 「認知症といわれたら」「注文をまちがえる料理店」



★サブ展示

### 『旅行本』



食べ物がおいしく、過ごしやすい季節の秋ですが旅行に行ってみませんか? 旅の参考になる本を展示しています。

●サブ展示図書(抜粋)

- 「大人のゆったり旅」「ニッポン鉄道ひとり旅」
- 「世界の映画の舞台&ロケ地」「伊豆・箱根 '25」
- 「地球の歩き方aruco 28 ドイツ」
- 「地球の歩き方ムーJAPAN」「ひとりたび1年生」
- 「世界プチギレ放浪記」「フィンランド時間」
- 「日本の世界遺産をめぐる旅」
- 「ニューヨークの毎日」



## ライブラリーコンサート

ライブラリーコンサート(マリンバ、ピアノ)を開催します。

皆さんのご来館をお待ちしています。

日時 10月5日(日) 14時~15時

場所 坂本図書館 観覧無料

出演者 濱口花音 濱口亜希

※当日は、館内で終日、BGMが流れます。



## BGMデーのお知らせ

坂本図書では、祝日にBGMを流し、いつもと違う雰囲気を楽しめます。

BGMデー 9月15日(月・祝)・9月23日(火・祝)

閉館日 9月16日(火)

※祝日の翌日が閉館となります。



# 読んでみませんか？

## -新着図書のご案内-

(一般)

### 今日未明

辻堂 ゆめ 著  
徳間書店

新聞の片隅やネットニュース等に短く掲載された犯罪記事。本作はその小さく載った5つの事件を題材に描かれた短編集です。日々起こる小さい事件は、客観的な事実しか報道されず、その背景はあまり描かれないことが多いです。身近な日常に潜む狂気、ささいなことで食い違う人生ドラマ。誰もが起こりうるかもしれない紙一重の裏側を描いた作品です。

(児童)

### 作って発見！西洋の美術 3

音 ゆみ子 著  
東京美術

作って発見！西洋の美術の第三弾。今回は、フェルメール・エッシャーなど13作品の技法やアイデアを元にした工作を紹介しています。美術鑑賞の視点を工作することで養い、美術の楽しさを知って欲しい一冊となっています。ただ見るだけではなく、作って美術鑑賞を楽しんでみて下さい。

(一般)

### 地震に強い収納のきほん

松永 りえ 著  
扶桑社

9月1日は『防災の日』です。備蓄や家具の固定・安全な配置など、家の中の防災は出来ていますか

2016年の熊本地震を体験した著者が、自身が被災して気付いた大切なこと「片づけの目的は『安全』」をもとに、暮らしやすさも兼ね備えた『防災収納』を紹介。実践ワークリストも掲載の、インテリアを楽しみながら安心して快適な我が家にするヒントが満載の一冊です。

(児童)

### くも

しおたに まみこ [作]  
偕成社

空に現れる「くも」。大きな空を悠々と歩く姿を女の子はいつも見つめています。

晴の日、雨の日、夕暮れどき、嵐の夜…。

私たちみたいに何かを考えているの？それとも何にも考えていないの？女の子はふとそんなことを思います。

「くも」という存在の不思議さと楽しさを描いた一冊です。この絵本を読んだ後には雲の見え方が少し変わるかもしれません。

※本の紹介文は、スタッフが作成しています。

## 駆逐艦 雪風

山下量子

2025年は梅雨明けが早く、夏は晴天の日が多かった気がする。宿泊に訪れるお客さんの多くが、「柏島に行く」と答える。焼けすぎたと真っ黒な肌で帰ってきたり、はたまた、足を怪我した！と痛そうに帰ってくる人もいる。

ある時、流されたらどうしよう！？と言っている子どもがいて、「流されたら慌てずに、戻ろうとするのではなく、横に泳ぐんだよ」と伝えたら、「ええっ、知らなかった」とそのお母さんが驚いていた。私には当たり前のことだったのだけど、都会では、そのような海の常識は知らないのかなと、こちらのほうが驚いた。

海岸に打ち寄せた波の水が、一気に沖に向かって流れ出す離岸流（リップカレント）は、波打ち際の一部で発生し、見た目には穏やかに見える場所でも発生することがある。流れの速さは秒速1～2mにも達することがあり、人間が泳いで逆らうのはほぼ不可能な速さとなる。なので流されたら、その流れにあらがって泳いでも、体力が消耗するだけで歯が立たない。そんな時は、流れにあらがうのではなく、岸と平行になるように横に向かって泳ぐと、流れから逃れられる。

・・・はじめにこの事を教わったのは、まだ東京にいる頃で、その頃の私は、湘南の茅ヶ崎でボランティアのライフセーバーをしていた。

当時はまだ若かったので、ライフセーバーに必要な体力も、泳ぎの能力もあったので資格も取れた。唯一苦手だったのは、ランスイムランといって、200m泳いで、200m走って、200m泳ぐ、というものだった。泳ぎは問題ないのだが、走る時になると砂が足をとって、なかなか走れない。それがなんともしんどかった。

私の所属したライフセービングの団体はサーフ90といって、メンバーは、海の知識もスキルも経験も圧倒的だった。ある台風の日、海上保安庁のボートが転覆しても、サーフ90のボートは転覆しなかった、という話がそれをものごとっている。

台風目前でも私はトレーニングで泳いだことがあったし、茅ヶ崎市のシンボルである烏帽子岩というところまで（茅ヶ崎海岸から約1.4km沖合）、パディを組んで泳ぐ事もしていた。

高知へ帰っても、サーフ90の団体には所属し、賛助金で活動の支援を続けている。海での海難事故は毎年どこかで起こっており、サーフ90は、茅ヶ崎のビーチの人命を守る重要な役割をしているからだ。

そんなサーフ90の仲間に、私が貸していた戦艦大和の写真集があった。この夏、数年ぶりにその写真集が私のもとに帰った。その際に、その写真集に、駆逐艦「雪風」が映っていることを聞いた。

雪風（ゆきかぜ）」は日本の旧海軍の駆逐艦で、第二次世界大戦中の日本海軍の艦艇の中でも特に有名なのだという。（私はそのことを仲間と言われるまで知らなかった）

何が有名って、激しい戦闘に参加しながらも終戦まで沈まず生還したことで有名なのだという。

調べると、1942年11月の第三次ソロモン海戦で集中砲火を浴びつつも被弾せず生還し、米駆逐艦2隻を撃沈したり、1945年4月の沖縄特攻作戦で沈没した大和の生存者を多数救助し、無傷で帰投したり、苛烈な戦いを潜り抜けながら無傷で生き残った雪風は、その幸運ぶりから「不沈艦」「不死身の艦」「奇跡の駆逐艦」などと称えられたそうだ。

実際、雪風は就役期間中、一度も敵の砲弾や魚雷・爆弾の直撃を受けることがなかったという。幾度か至近弾や小破こそ経験したが、被害は少なく、常に自力航行で戦線に復帰したという。例えば被弾した砲弾が発射できなかったり、迫り来る魚雷が艦底を潜り抜けていったなど、雪風には枚挙に暇がないほど数多くの“強運エピソード”が伝えられているという。

そんな雪風に、注目の的が当たった。駆逐艦「雪風」が激戦を幾度もくぐり抜け、生還した史実を基に、戦中から戦後、さらに現代に至る人々の物語を壮大なスケールで描いた作品として映画化された「雪風YUKIKAZE」が、2025年8月15日（金）に全国で公開されたのだ。俳優陣は、竹野内豊や、玉木宏、奥平大兼、当真あみな豪華キャスト。

そしてなんと冒頭のライフセービングの団体のサーフ90が、海上撮影の際に、全面的に協力していたのだという。海の中では、体温が下がったり、熱中症だったり、怪我をしたり、さまざまな危険がありうる。そういった時に対処できるようボートやレスキューボードなどで護衛をしていたようだ。そして時には、メンバーがエキストラ役で兵隊として出たのだとか。ただし戦時中の話なので、できるだけ坊主頭で、できるだけガリガリのメンバーが選ばれたのだということ。

もちろん彼らは撮影中、俳優陣にも会えたみたいでうらやましい限りだ。

私ももちろん今度、この映画を見に行こうと思っている。そして、エンドロールに書かれてあるだろうサーフ90（SURF90）の名前を見つけるのが楽しみだ。

読者の皆様も機会があれば是非、見てみてください。

## ～新着図書のご紹介～

### 一般図書



- 0 「読書は「アウトプット」が99%」 藤井 孝一  
 0 「ソロ活女子のススメ」 朝井 麻由美  
 1 「パリジェンヌはダイエットがお嫌い」 藤原 淳  
 1 「仕事も毎日も整う！働く女子の時間のルール」  
 日経WOMAN編集部  
 2 「大人の男海外ひとり旅」 伊藤 伸平  
 2 「見えない壁」 本間 浩昭  
 3 「リーダーの任せる技術」 岡本 文宏  
 3 「私たちはなぜ法に従うのか」 白田 秀彰  
 4 「星を楽しむ双眼鏡で星空観察」 大野 裕明  
 4 「異次元の疲労回復力を手に入れる本」 澁谷 真彦  
 5 「はじめてのワイヤーデザインリング&ブレスレット」  
 塚本 ミカ  
 5 「おうちで作るプレミアム食パン」 高橋 雅子  
 6 「ごっくん馬路村の男。」 依光 隆明  
 7 「1年で潰れると言われた野球部が北国のビニール  
 ハウスから甲子園に行った話」 原田 一範  
 7 「怖くて美しい能の女たち」 林 望  
 9 「エンドロール」 今野 敏  
 9 「マスカレード・ライフ」 東野 圭吾  
 9 「翠雨の人」 伊与原 新  
 9 「バンクハザードによろこそ」 中山 七里  
 9 「ダークネス」 桐野 夏生

※左側の数字は図書の分類を表しています。  
 0...総記、1...哲学、2...歴史、3...社会科学、4...自然科学  
 5...技術、6...産業、7...芸術、8...言語、9...文学

### 児童図書



- 「放課後ミステリクラブ」 7 知念 実希人  
 「STAR WARS工作大図鑑」 リズ リー ハイネック  
 「つかめ！理科ダマン」 10 シン テフン  
 「モンゴル大草原 風の馬」  
 メアリー ポープ オズボーン  
 「ランドリーの迷子たち」 シャネル ミラー  
 「アミノ酸のひみつ」 ひろ ゆうこ  
 「みんなが知りたい！文字のひみつ」  
 「文字のひみつ」 編集室  
 「すごすぎる音楽の図鑑」 反田 恭平 監修

### 絵本



- 「ジャングルバス」 大島 英太郎  
 「みずたまりといきもの」 槐 真史  
 「くまのおやこのきょうはさかなつり」 エイミー ヘスト  
 「まきさんのソフトクリーム」 くどう れいん  
 「ぎょうれつのできるサンドイッチやさん」 ふくざわ ゆみこ  
 「ねこのいえで」 高橋 和枝  
 「あめふりにのらめっこだいこん」 わび みよ  
 「まんいんでーす！」 平田 景  
 「あらしの島で」 ブライアン フロッカ



★このほかにもたくさんの図書が入っております。  
 図書館ホームページでは、新着図書一覧が検索  
 できますので、そちらもぜひご覧ください。

【新着図書一覧検索】

### 9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

### 10月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

開館日時 火～金 10:00～18:30 土・日・祝 10:00～18:00  
 ホームページ <https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-25/p010805.html>  
 メールアドレス [tosyo@city.sukumo.lg.jp](mailto:tosyo@city.sukumo.lg.jp)

■は休館日

※9月15日(月・祝日)・9月23日(火・祝日)  
 ・10月13日(月・祝日)はBGMデーです。



【図書館HP】

